

級であります。

第四段は、是は即ち延きか俳優
船渡、皮漢、夫れから僧侶も

三跡を見出すこと
は、我々の
力、何時彼復

級であります。

第四段は、是は即ち延きか俳優
船渡、皮漢、夫れから僧侶も

三跡を見出すこと
は、我々の
力、何時か復

題潮

清水山松上
内水
澤下
野

目的傾向

服此階級で、是は主として李朝になつたで佛敎を信仰しない様になつたで斯う言ふ處になつたのであります。海外に奴婢賣下奴隷が移徙して居るの四つの階級が存存して居るものであります。今お讀み下さい。右の言ふものは、朝鮮の階級から申せば士族一番下の階級に屬して居るものであります。

果東省大教授 町世重

「東亞貿易政策」

「あれ、そんなものゝりませう、
 都合に平氣だ、して見れば
 方面へ迄來れなかつたの
 しろ、なかつたことすれば
 酒になつたやうなぬ
 酔つた頭味が缺ける事にな
 だ、云はば、非の口出の如
 著しく減殺される譯であ

許直輸入元

日社
迎品
手販賣
理部
キタビ

團體交涉の獲得に資する資本所事

然るに今後我國の經濟狀態はき
の急激なうちに作くであらうかは
は無常なるに分るが、世人の多
くは分るののである要するに物
價が何處迄下へるかが問題であ
る。日本では夫の議論はなされて居る
のである。米、米、米等の國に
於ては之を以て論じし物價は二
三。即ち戰前に較べて物價は二
三位の所で安定するであらう。戰
前は戰前に較べて五割増位の所だ

聲を上げて哭れた、此の
 この深山に聲が何うかし
 に眠つてゐる妻に響いて
 りやい、さういふ、己れも
 すに大きな聲で、
 うだう、何しろ全で利根川
 入れた様になつたんだよ、
 物泣きさして、
 物泣きつてたら、
 如何にも物泣い音を出し

催
七月二十八日
七月二十九日

講義録
本發明通學校


普通
御希望の

町二丁目
公堂書店
電話
番館一四五六
番四

ニテ

利
二七五

混亂の英
 人種的偏見の解
 哲學的的
 工場占
 川崎造船
 船所の
 制度創設



なるか知らんが、短間の間に怎う
 五割増し 以下にはなる
 ものではなかつたか、或は戦前
 の状態に近う、所産をなげれば
 成産を現出するに出来なば
 一、或は云々うに、浴人各
 節々に戦前出居た、今一つ
 此等の戦の出居、取けるが
 此等は、あるか、省略するが
 此の知り得た戦前に於ては、
 此のやうな種々の戦行は、

[illegible][illegible][illegible]

勞働運動の左
店員の勞働組
營業時間短縮と週休
過制の社會

かゝるものがある。我々も、現
場で見ては然るべきである。
 うちの者が云ふに此の
 所が、好む戦場の物價に
 較べて二倍位の所が。

安定點とて あつた云ふ

やうな則警察致し發賣したこ
 もあつた。只今の所では其の邊
 の街裡して居るのであるが將來
 が動かないれば恐らく觀察は非
 常に間違はない云々の如きが
 果して如何なることになる

らるる。猶知らないのか
 己れだつて昨夜まで知らな
 たのである。
 一つ、そこへお酒になつ
 仰せらるゝんですとか

獲得權利
有利之利
會長法
本分以外斷
存立
議金額五百圓
殖研究實
會長永

進内案業營

殺しの名

何う云つて申譯しようかと想ひて、
 自宅の前へ時刻暇をて了つた。ハラクしながら密つこ
 細き、極端に開けて入つて行
 きた。その背で、女中が飛んで出
 來た。
 「オヤお困りなさいまし。」
 云はんと。

身にもなつて創設なき
 獄で好んでか。チミ此
 つて仕方が無いぢやないが
 「罪を罰せよ」
 の新監獄東京はホソのチ
 りと清く整つた誇りです、
 が、監獄です。う。
 云々(傍聴)の悪い雨だつた

第
十
時

昭和十四年四月廿四日出版

使諸官省會社等の
運用秘

[illegible]

或る男
武者座の、自叙傳小説。『或る男』
は、其の著者の姿に映して描かれてゐる。
足利氏の雄略に雲木健を以て同視する
上、其の各章に襲つたが我々の如く何處へ向
かうかと思ふ出されたが我々には何處へ向

暗夜行路

成功を欲せば収入大なる工業

技術者になれるには電氣機械建築を發行し、聯名ならぬ實地に依り立つて技術を學ぶべき三ヶ月で卒業せしめ、就職を與へ、由達見本及び高級就職を希望する者日本通信工科學校

おにいお菓子

二回打たぬお菓子

全日本に四角ア

サタマ式ドロップス

東京 佐八間親業株式会社
 特約店 京阪西大門駅前 吉門能會

工業主の面的傾向

オートランド

ラウセル

[illegible]

八月虎

ラッセル氏に非に東洋を支配せんとする米国の「新帝政」の露骨な企てを暴く。この一編は、ラッセル氏の「大論議」で日本を支配し、東洋の人民を奴隷にする米国の「新帝政」の露骨な企てを暴く。この一編は、ラッセル氏の「大論議」で日本を支配し、東洋の人民を奴隷にする米国の「新帝政」の露骨な企てを暴く。

人種學的解釋

ラッセル氏に非に東洋を支配せんとする米国の「新帝政」の露骨な企てを暴く。この一編は、ラッセル氏の「大論議」で日本を支配し、東洋の人民を奴隷にする米国の「新帝政」の露骨な企てを暴く。

ラッセル氏に非に東洋を支配せんとする米国の「新帝政」の露骨な企てを暴く。この一編は、ラッセル氏の「大論議」で日本を支配し、東洋の人民を奴隷にする米国の「新帝政」の露骨な企てを暴く。

川崎造船所の工場占領

ラッセル氏に非に東洋を支配せんとする米国の「新帝政」の露骨な企てを暴く。この一編は、ラッセル氏の「大論議」で日本を支配し、東洋の人民を奴隷にする米国の「新帝政」の露骨な企てを暴く。

ラッセル氏に非に東洋を支配せんとする米国の「新帝政」の露骨な企てを暴く。この一編は、ラッセル氏の「大論議」で日本を支配し、東洋の人民を奴隷にする米国の「新帝政」の露骨な企てを暴く。

週制度創設の提唱

ラッセル氏に非に東洋を支配せんとする米国の「新帝政」の露骨な企てを暴く。この一編は、ラッセル氏の「大論議」で日本を支配し、東洋の人民を奴隷にする米国の「新帝政」の露骨な企てを暴く。

ラッセル氏に非に東洋を支配せんとする米国の「新帝政」の露骨な企てを暴く。この一編は、ラッセル氏の「大論議」で日本を支配し、東洋の人民を奴隷にする米国の「新帝政」の露骨な企てを暴く。

労働運動の左傾と將來

ラッセル氏に非に東洋を支配せんとする米国の「新帝政」の露骨な企てを暴く。この一編は、ラッセル氏の「大論議」で日本を支配し、東洋の人民を奴隷にする米国の「新帝政」の露骨な企てを暴く。

立

刊

男

「勞働運動の現狀」の所感 山川紫葉
「勞働者の救済」 鈴木文治
「資本家心理」 鈴木文治
INHERENT TENDENCIES OF INDUS TRIAL SM..... Bert Rand Russell

◇殺しの名人 大杉 栄
鋭き一刺も不可逆なる致命的武器 永久に四肢の機関を破壊する——「殺し」の達人の天才才能に對する驚嘆の叫びである。

◇自伝 片山 潜
「自伝」の著者 片山 潜

◇北郊々雜記 阿部 次郎

◇白牙 (ホワイトラント) 堺 利彦

◇AとBの話 早稲田 谷崎潤一郎
「AとBの話」の著者 早稲田 谷崎潤一郎

二四六八
番番店之同人界大図本

五十二

作

◇或る男◇
武者小路實篤

◇暗夜行路◇
志賀直哉

此者小前王の自叙傳小説一受命弟は、ふ然として妻々果敢となつて出て、其の者の姿をばたにちりしむ。形は尊厳と云へど、口は口で、志賀氏の雄略も地味部を以て開眼を終る不意な我身の世の中を知り、無光の夜宴に襲れた彼の心は何處へとも通ずる道へ向かう。何事かを思ひ出されたるが如くは現の世から消れていける。

『時 八 後 午 の 江 漢』

永穿明二
仁川活版所
電元

第一、時、人、筆、書、考、解、正、人、の、間、疑

相 一 相

永森

新時代の要求！

ビスを食べてタバコを
召せば爽快の上なし。
タバコを召さぬ人の爲め
にはタバコ代用……

菓糖涼清

煙草店 菓子店、食料品店、
藥店、雜貨店にあり

三種三料客

PEPPERMINT
MORINAGA'S

MADE IN JAPAN

錢五 (包粒二十)個→

永森製菓式會社

12-10

10

100

便持販
宜タ賣
相シ店
計メ増
ル配設

報社 支店 白魚

空氣圓氣座
ホース

ル
ト

タイヤ
ム板
代理店

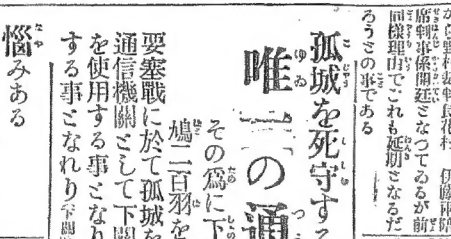
店

郵便局
眼鏡店

處養牛

候此段
 雨君二謹
 八明二七
 五時旭可
 十六日可仕
 中金次郎
 中キク
 田龜次郎
 田憲三
 正吉

友英太郎



ス 座枕

二 中 板

吉三郎 佐盛 謹段

今般左記ノ通り京城日報市内販賣店増設
 致シ主トシテ黄金町以北ヲ受持タシメ配
 達上其他一層愛讀者各位ノ御便宜相計ル
 事ト致シ申候間何卒一層ノ御愛讀賜リ度
 此段社告候也
 大正十年七月
 水標町四十八番地
 京城日報社
 支店
 町田
 電話四一六番
 支店

○消憂の必要品なる

一印 水 枕 空氣枕座

一印 赤色水道ホース

○品質耐久力本位なる

一印 ゴムベルト

一印 冬種ゴム管

○各種ゴム製品安價提供

一印 印刷用ゴム板

ベル印 空氣入人力車タイヤ

角一ゴム合資會社朝鮮總代理店

角一商店

▲獨りて名人になる
尺八の吹方

本會獨りて正則尺八吹奏講義
持は方吹き方指の運び方息の配
方進育の出し方急所勘所の説

明琴三
吹奏講義
の要訣
を伝授
する

を編入で拾も手を取つての放ゆる
が如くに公開し詳述される
山から附録としてかつ高い
子守歌を始め三十九種の古今の
名曲を録せる

中村眼鏡店
電話二一七五
振京三馬路

一勇俊雄儀
長病の處養生
不相叶二十六
日午前五時半
死去致候此告
告仕候
追々引張ハ明二十七日
日午後五時旭町成
院に於て訃告仕候

東京府下中湊町
 東京尺八研究會出版部
 寫真機磁器具附贈品一式
 上田富眞機器店出張式
 平塚本一
 電話二貳一
 番町

ういふものでございますか其のつたな。天狗は背鬼の行き留り
お出出来るなる御夫勇の平馬様を、
阿久保が、深いお考へがあつて、
の事でして聞しいまふので、ツイ此の作
遣はして置けりやないで、
方の昌安寺といふお寺へ此の頃
お遊はしになつて感心さす所も
せんけれども頗りに佛殿の修造
をして居らつちやない。喜々
々、平馬云ふや、喜「ハイ、喜々」
我れは好い事を聞いた、門人々を
船中に酒を呑んで其日は晴ませ
心静かに考へたのは、一つ之の
事だ。喜々いふ事へ行つて、女男
の軍馬と試合をして打殺したる
親父の念で、親父が出て來る
處まで待つて居る。さうすれば我
らが解るとする。「さう考へて
きた。喜々昌安寺へ來て、
首領に聞く、向ふに見られる
のが昌安寺様でございます。來て
見る、成程好い寺だ。宿で認め
て参籠をした旅の横柄から取り
、昌安寺の大門口の親柱へ出る
て貼つては儼然つた、寂寥が
らや、客事はに古く遠祖の父

つたな。天狗は背鬼の行き留り
、輕微の飲宴遊樂の煙被り。
お見えない奴が澤山あつて
二、三筆を取つて其の傍へ廻
スラ／＼取つて、吾等内陣
ハイ、作て左の所の隅へ掛つて一
つ貼つて置く、元の通りに
つて置かんぞが、男へ、
畏れ多いこと云はれた通り
に貼つた上、貼つて置いた、
京原助治町二丁目
置材料商 島田誠昌
電話九號九號

「講評」
ゆゑ一五決定に類縁の如く早
ゆらきも疑定に翻ひて上手方
の仕掛を待つ含みに上り毛
なり
かへ四五歩の仕掛は幾許に達
したる手なり

七月廿六日
(癸酉六月廿一日)
火曜日は免帳(四世)宿務
大徳院(三郎)宿務

四條 又忠告を聞き心に留ま
新計匠には遠く一の旅人も今
五萬 概と食けず。目録
守りに進まずれば大破れるを榮
六代 公に懸念する
は間進ひ生じ易し午前四午後
七赤 びと羨しみ相
物事技目にもへせば利益余
八代 一生懸命になつて金
實も奥がぬ月半指せれば十分
九條 全つて腹調ひの速
まつて働けば儲けるの利を占
一白 元祖盛名の始めから
月に見ても終りに影を残す
二重 訪問金銀糸束東幸喜
三條 四條の間持たる若り萬
諸般に連なべく待人

[illegible]

門次男年馬也。こまいてある
態つたのの我々大馬鹿者
本の大馬鹿者は、はやくあつた
な、きまつたな。未だ、腹背固
くさらざる若根者の身をみて、無
頭より起り、發て川登致して英
己分の利益、便ひ咄れたる樹
を小脇に擔い、頭からボツボツ
汗をか立て、昌安君の大門を渡
り、御蘭江へ行く。吾親も親類
う「大音聲」に呼ばれたつた。其
男が驚いて、作ア、大いなる聲で
叩きこらした。「ハ、貴殿探偵部
に御座りました。吾親が昔年に
吉岡、佐左門の次男平馬といふ
者が居るであらう。之へ出ろ
さ申せ。日本一の大馬鹿者有居
るや否や、云ふ方が泥り越した

電話 五二〇

釜山商店案内

洋鐵鋼鐵造船柏木
材料其他工業諸器
械附屬品商

角野商店
釜山路三三三
電話二九

酒糟 燻大燒 耐
西貢米 碎米 大豆
砂糖 麥粉 麵粉
釜山立通商

福榮商會
刊 洋酒・罐詰
電話三九
釜山あづまや
電話三九
行現 糖粉・官煙

蚊帳、厚司

扇子問屋
東京前田町通
電話二二

富榮商店
電話二二

カバン・トランク
二割引
七月二十日ヨリ
八月十日迄
大賣出し
京城本町二丁目
製造元
向井旅行具店
電話二四八四番

Hermes

スメルへ
一キス井ウ

に一第づ先はそ！品物進向節季
すらかへるごせ獎推をスメルへ

HERMES
Old Cognac
55

The original and only Cognac of France
No. 1 in the World
Bottled in France
No. 1 in the World

Herminie

MAISON FONDÉE EN 1837

[illegible]

仁丹

新発売二十銭包
内容は十枚包の
二倍半
あります

仁丹は高貴な薬品結晶也

暑がありました
今も仁丹の活用季

用活の丹仁

酔吐瀉に
暑熱に
腹痛に
嘔吐に
頭痛に
めまいに
暑熱に
嘔吐に
腹痛に
めまいに
暑熱に
嘔吐に
腹痛に
めまいに

物見遊山に
芝居入浴に
温泉で山に
旅行散歩に

